



シームレス建築部材照明器具 C-Slim単色カラータイプ

(一般屋内用)

基本灯具		L1200タイプ	L600タイプ
		連結ガイド金具品番 NNFK(H)99120	連結ガイド金具品番 NNFK(H)99060
本体品番	赤	NNF(H)12076	NNF(H)06076
	緑	NNF(H)12077	NNF(H)06077
	青	NNF(H)12078	NNF(H)06078

電源線挿入用アダプトコネクタ	NNFK(H)99000
調光線挿入用アダプトコネクタ	NNFK(H)99001
入線処理用ジョイント金具	NNFK(H)99011

エンド用灯具		L1200タイプ	L600タイプ
		入線穴付連結ガイド金具品番 NNFK(H)98120	入線穴付連結ガイド金具品番 NNFK(H)98060
本体品番	赤	NNF(H)12086	NNF(H)06086
	緑	NNF(H)12087	NNF(H)06087
	青	NNF(H)12088	NNF(H)06088

オプション	
傾斜型固定金具15°タイプ	NNFK(H)99015
傾斜型固定金具30°タイプ	NNFK(H)99030

電源コソ入線用灯具		L1200タイプ	L600タイプ
		入線穴付連結ガイド金具品番 NNFK(H)98120	入線穴付連結ガイド金具品番 NNFK(H)98060
本体品番	赤	NNF(H)12096	NNF(H)06096
	緑	NNF(H)12097	NNF(H)06097
	青	NNF(H)12098	NNF(H)06098

※上記()内は加工品番です。(以降、加工品番の記載を省略します。)

※以降、「連結ガイド金具」という表記には、「入線穴付連結ガイド金具」のことも含んでいます。

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様へ必ずお渡しください。

安全に関するご注意

 警告

- 器具本体を単独で使わない。必ずパナソニック製専用連結ガイド金具と組合せて使用する。落下・感電・火災の原因となります。
- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 天井面・壁面・据置取付専用です。床面への取付はできません。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災・故障の原因となります。
- 電源線・調光線の接続後の絶縁は確実にを行う。感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続(ねじり接続等)はしない。必ず専用工具で圧着すること。火災の原因となります。

 注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
- 器具の取付・取外しは手袋などの保護具を使用する。けがのおそれがあります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。
(一部の食品や薬品、紙類また、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。) 光学性能に影響を与える場合があります。
- 本体に衝撃を与えたり、無理な力をかけないでください。破損による、落下・感電のおそれがあります。

施工上のご注意

- ・コネクタ接続は、必ず電源を切ってから行ってください。
- ・当社適合コントロールとの組合せにより、光出力を約1～100%に変化させることができます。

■適合コントロール

適合コントロール	LJ
ライトコントロール、信号線式(LED・インバータ蛍光灯)(負荷切替スイッチをHf側で使用)	○ 注1
ライトマネージャーFx(負荷切替スイッチをHf側で使用)	○ 注2

- ・適合コントロールは当社製品をご使用ください。適合コントロールの注意事項については適合コントロールの説明書をご確認ください。
- ・接続可能な器具台数は器具の定格電圧により異なります。詳細はライトコントロールの承認図、取扱説明書をご参照ください。

※ライトコントロールで照明器具電源を接続する場合、接続台数が減少する場合があります。

ライトコントロールの定格容量とLED器具の定格を事前に確認してください。

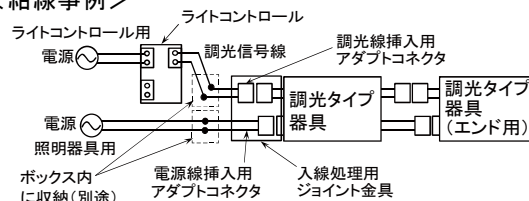
注1)ライトコントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後も薄暗く発光する場合があります。

注2)調光器による消灯後も薄暗く発光する場合があります。演出用に消灯する際はご注意ください。

■結線について

- ・調光信号線はCPEV線φ0.9又はφ1.2×1ペアです。
- ・コントロールの結線はコントロールの説明書をご確認ください。
- ・電源線は低圧屋内配線工事、調光信号線は弱電流配線工事が必要です。
- ・信号線は、電源線と束ねないでください。誤動作の原因となります。
- ・電線管をご使用の場合は、電源線と信号線と同じ管内に収納しないでください。

＜結線事例＞

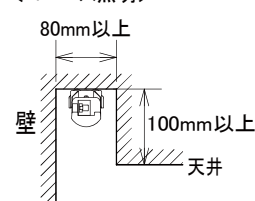


(注意)

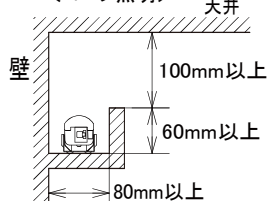
- ・設置可能な最小の建築寸法を示しています。光の効果を十分に得るためには、照射面の仕上げ、カットオフライン、器具と壁面(照射面)との距離に注意して施工してください。
- ・電源接続部は、金属等の耐火性ボックス内に収納し、固定して使用してください。

■設置可能寸法

＜コーニス照明＞



＜コーブ照明＞



＜横入線する場合＞

入線する側のガイド金具の側面から30mm以上の空間を設けてください。



各部のなまえと取付方法

- ・NNF06086～NNF06088(エンド用灯具 L600タイプ)の例で説明しています。

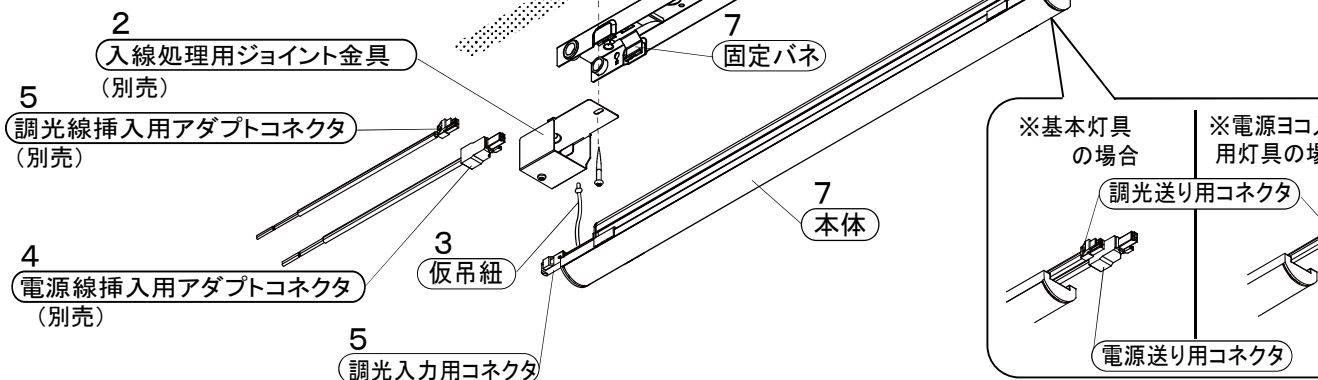
取付ピッチについては、4ページの「器具背面図」を参照ください。

- ・説明上、下図はコネクタと仮吊紐を外した状態で表しています。

警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。

器具の取付・取外しは手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。

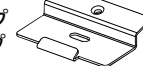


1. 取付前の確認

- ・器具質量(NNF12096:1.4kg)
十分に耐えるよう、木ネジ取付部(ネジ掛かり代)の強度を確保する。
(木ネジ(別売)は、丸木ネジの呼び4.1を使用する。)
不備があると器具落下の原因となります。

傾斜型固定金具 (別売)

15° タイプ
30° タイプ



各部のなまえと取付方法

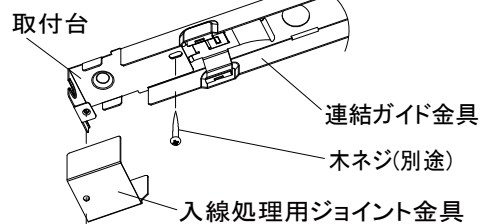
2. 連結ガイド金具の取付

- ・電源線/調光線挿入用アダプトコネクタの接続部には、入線処理用ジョイント金具が必要です。
- ・入線処理用ジョイント金具の取付台と合わせて木ネジ(別途)で固定してください。
- ・木ネジで確実に取付ける。
不備があると落下の原因となります。

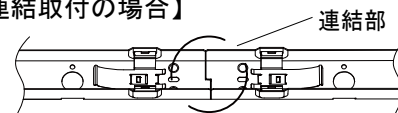
【連結取付の場合】

- ・連結ガイド金具の両端凹凸部を突き合わせて真っすぐになるように設置してください。

2. 連結ガイド金具取付

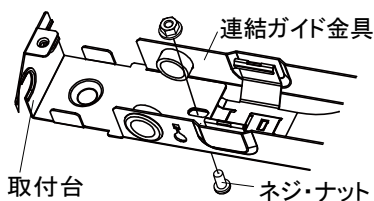


【連結取付の場合】

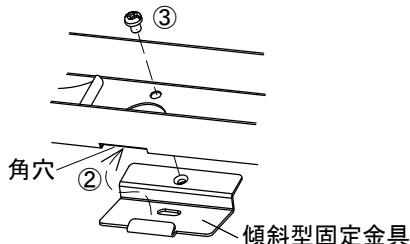


【傾斜型固定金具使用の場合】

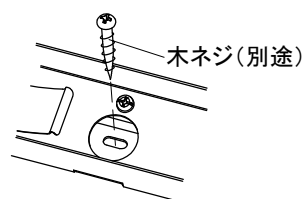
- ① 入線処理用ジョイント金具に付属のネジ・ナットで連結ガイド金具に予め取付台を固定してください。



- ② 連結ガイド金具の角穴に引掛ける。
- ③ 付属のネジで固定する。



- ④ 傾斜型固定金具の取付穴で木ネジで固定する



3. 本体の仮吊り

- ・本体の仮吊紐(2本)を連結ガイド金具のダルマ穴に引っ掛ける。(2箇所)取付が不完全な場合、落下の原因となります。

4. 電源線の接続

- ・電源線挿入用アダプトコネクタを本体の電源入力用コネクタに接続する。
- ・電源線挿入用アダプトコネクタの口出し線と電源線を接続する。
- ・接続部の絶縁を確実にを行う。
- ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条に従うこと。
- ・口出し線の線種:ビニル絶縁電線 線径:0.75mm²
- ・連結取付する場合は、1回路あたり2A以下としてください。
- ・接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、感電・火災の原因となります。

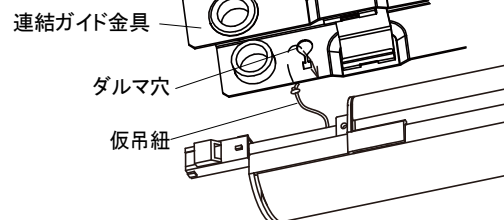
5. 調光信号線の接続

- ・調光線挿入用アダプトコネクタを本体の調光入力用コネクタに接続する。
- ・調光線挿入用アダプトコネクタの口出し線と調光線を接続する。
- ・接続部の絶縁を確実にを行う。
- ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条に従うこと。
- ・口出し線の線種:ビニル絶縁電線 線径:0.5mm²
- ・接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。
- ・弊社適合コントロールをご使用ください。
- 注)制御可能台数はコントロールの取扱説明書をご確認ください。

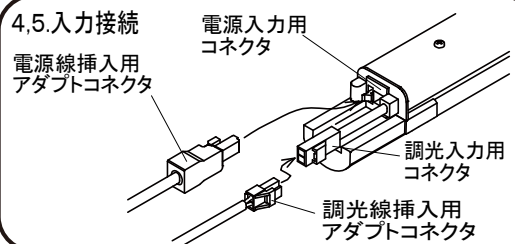
6. 2台以上の連結接続する場合

- ・電源及び調光入力用コネクタと送り用コネクタを接続する。
- ・カチッと音がするまで差し込む。
- ・不備があると不点灯の原因となります。

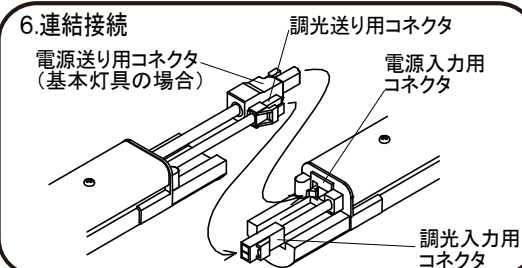
3. 本体仮吊り



4.5 入力接続



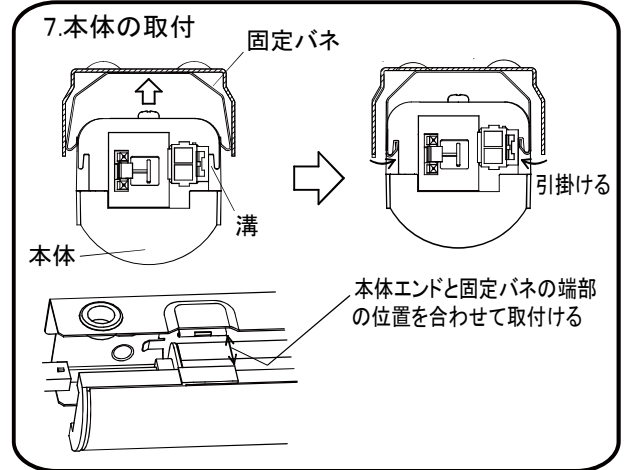
6. 連結接続



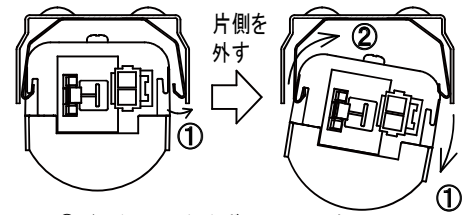
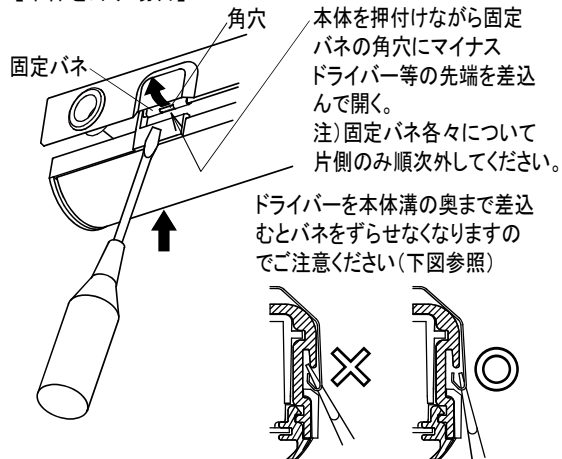
各部のなまえと取付方法

7. 本体の取付

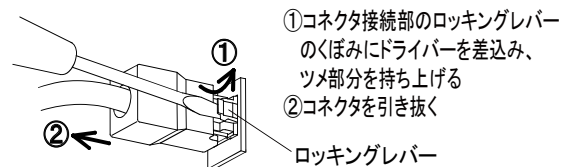
- ・本体を固定バネに差込み、溝部分にバネの爪を引掛ける。
カチッと音がするまで押し込む。
- ・取付後に本体を動かして、爪が確実に嵌合していることを確認してください。
不備があると落下の原因となります。
- 取付時、電線の線噛みに注意してください。
不備があると感電・火災の原因となります。



【本体を外す場合】

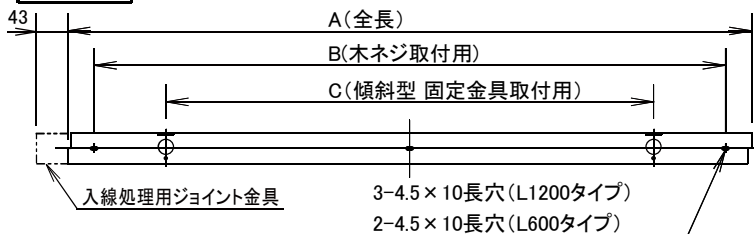


【電源入力/送り用コネクタの取外し方】



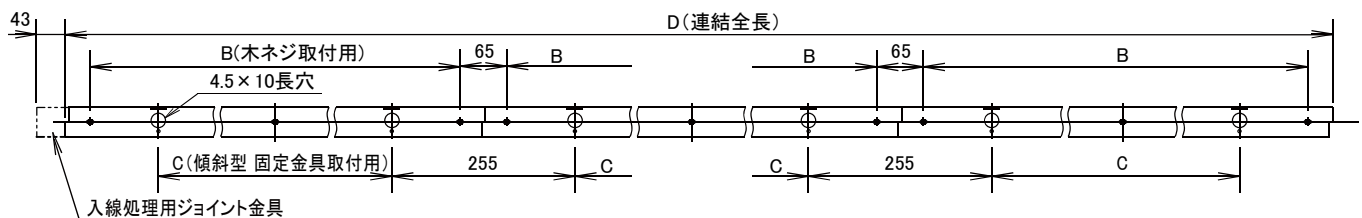
器具背面図

器具単体



器具タイプ	A寸法	B寸法	C寸法	D寸法(N:連結台数)
L1200タイプ	1205	1135	945	1200 × N+5
L600タイプ	610	540	350	605 × N+5

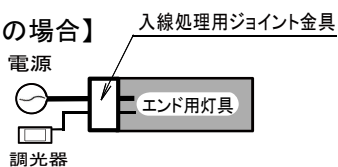
器具連結時



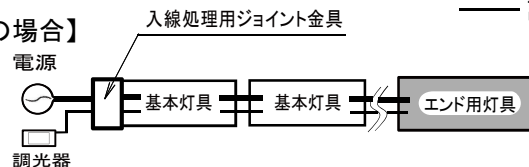
1回路で設置する場合

- ・単体使用および連結終端部には、エンド用灯具を使用してください。

【単体の場合】



【連結の場合】

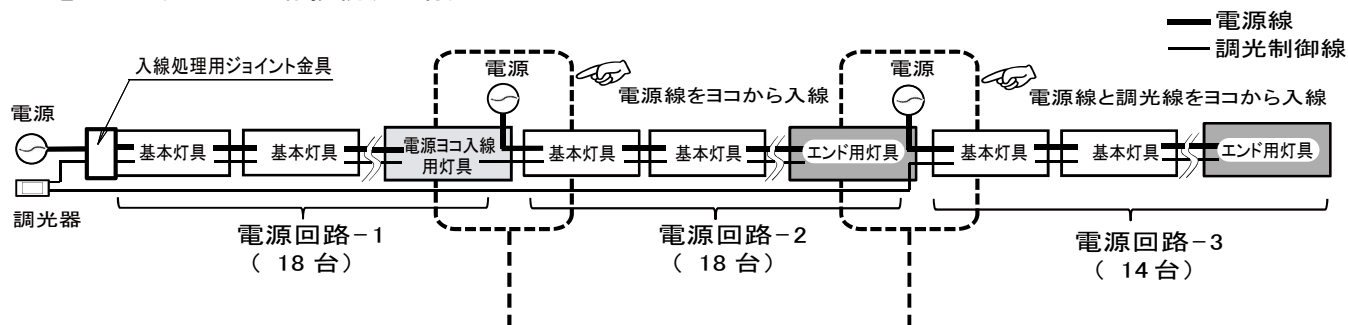


— 電源線
— 調光制御線

複数回路を連結して設置する場合

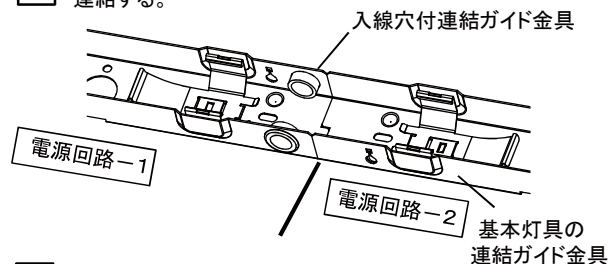
- ①: 回路の最後の位置に、「入線穴付連結ガイド金具」を配置してください。
- ②: 次回路のための「電源線挿入用アダプトコネクタ(NNFK99000)」の線端を入線穴に通してください。
※制御回路も複数連結する場合、次の制御回路のための「調光線挿入用アダプトコネクタ(NNFK99001)」の線端も入線穴に通してください。
- ③: 入線部には「電源ヨコ入線用本体」または「エンド用本体」を装着してください。
- ④: 連結終端部は「エンド用本体」を装着してください。

・例：L1200 タイプ（200V：電源送り台数 18 台）をライトマネージャー Fx（NQ28841K 回路合計制御台数 36 台）を用いて、50 台連結接続する場合

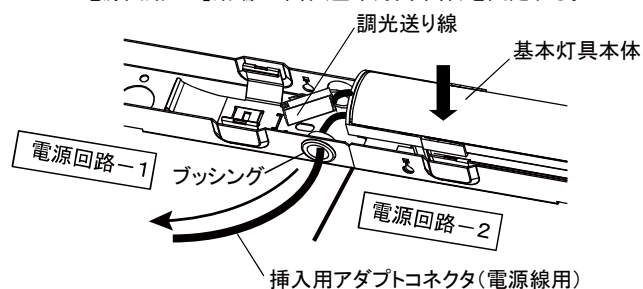


複数回路を連結設置する場合において、電源線のみ接続中間部から横入線する

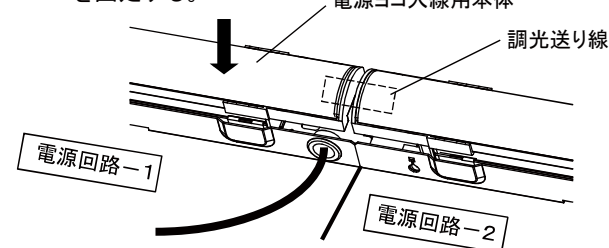
- 1 入線穴付連結ガイド金具と基本灯具の連結ガイド金具を連結する。



- 2 「電源回路-2」始端の本体に電源線挿入用アダプトコネクタを接続し、「電源回路-1」のガイド金具の入線穴から外へ引き出す。
※アダプトコネクタ線はガイド金具内部で余らないように外へ引き出してください。
※無理に線を引っ張らないでください。
※作業中、側面のプッシングが外れる場合があります。再度付け直してください。
・「電源回路-2」始端の本体（基本灯具本体）を固定する。

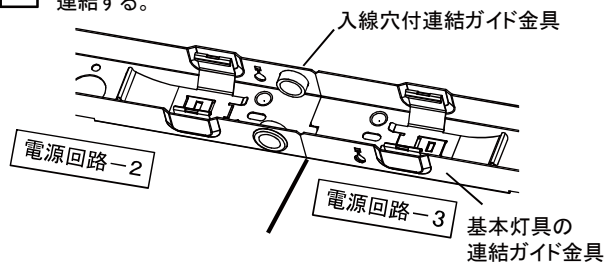


- 3 調光送り線を接続する。
・「電源回路-1」終端の本体（電源ヨコ入線用本体）を固定する。

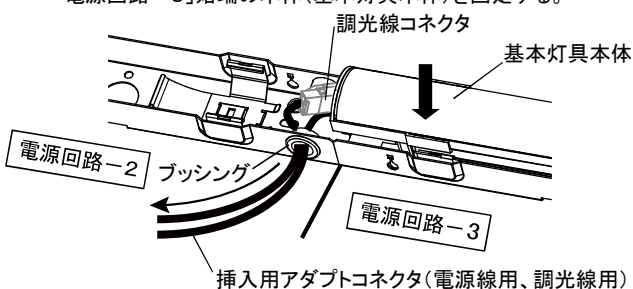


複数回路を連結設置する場合において、電源線と調光線を同時に接続中間部から横入線する

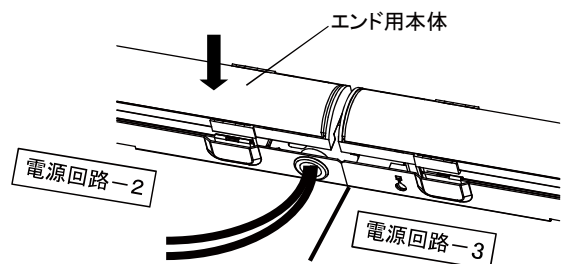
- 1 入線穴付連結ガイド金具と基本灯具の連結ガイド金具を連結する。



- 2 「電源回路-3」始端の本体に電源線及び調光線挿入用アダプトコネクタを接続し、「電源回路-2」のガイド金具の入線穴から外へ引き出してください。調光線コネクタは金具内で納めてください。
※無理に線を引っ張らないでください。
※作業中、側面のプッシングが外れる場合があります。再度付け直してください。
・「電源回路-3」始端の本体（基本灯具本体）を固定する。



- 3 「電源回路-2」終端の本体（エンド用本体）を固定する。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがあるなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。



注意

- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年(※1)経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検交換してください。LED光源は寿命が来ても暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。※1 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号: CLX2021HA)点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■LED照明器具の光源寿命(※2)は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)

※2 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の80%(赤、緑)、65%(青)に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

使用上のご注意

- ・光源として高輝度LEDを使用しています。光源部を長時間直視しないでください。
- ・LED素子にはバラツキがあるため、LEDユニット内のLED個々及び同一品番で発光色・明るさが異なる場合があります。特に調光下限では発光色、明るさの違いが目立つ場合があります。予めご了承ください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・点灯始動時、タイプによって立ち上がり時間が異なる場合があります。予めご了承ください。
- ・照射距離が近い場合や照射面によっては色ムラ、明るさムラが気になる場合があります。予めご了承ください。
- ・消灯まで時間のかかる場合がありますが、品質上問題ありません。予めご了承ください。
- ・バーコードの読取感度が鈍くなる場合があります。読取距離を近づける等対策を講じてください。
- ・点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。予めご了承ください。
- ・コントロールと組合せて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。同一器具または同一品番で点灯及び消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。低い調光域では段調光のように動作する場合があります。
- ・光出力比(%)と目で感じる明るさ感には相違があります。

保証について

- 保証について - この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について - 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品 - 弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。の保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

- 器具の清掃について - 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。



注意

- 本体、カバー破損のおそれあり。本体、カバーは樹脂製です。取扱いに注意してください。

■ 定格

品種	L1200									L600								
	赤			緑			青			赤			緑			青		
電圧	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V
電流	0.17A	0.085A	0.075A	0.18A	0.09A	0.08A	0.16A	0.08A	0.07A	0.09A	0.05A	0.04A	0.1A	0.05A	0.045A	0.09A	0.05A	0.04A
電力	17W	17W	17W	18W	18W	18W	16W	16W	16W	9W	9W	9W	10W	10W	10W	9W	9W	9W

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月～土/9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460 (FAX) (Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays))

PT0319-010422